

平成27年度 関東農政局補助事業評価（再評価・事後評価）技術検討会（第2回）
議事概要

- 1 開催日時 平成27年12月14日（月）14:00～16:30
- 2 場所 さいたま新都心合同庁舎2号館5階共用中会議室502
（埼玉県さいたま市）
- 3 出席委員 別紙のとおり
- 4 技術検討会の概要
技術検討会の黒田委員長による議事進行のもと、事業実施主体からの情報提供等を基に作成した農業農村整備事業等再評価地区別資料（案）及び農業農村整備事業等事後評価地区別結果書（案）について農政局より説明した後、質疑応答及び評価内容に関する議論を行った。なお、傍聴者はなかった。

○対象地区

・再評価 5地区

農業競争力強化基盤整備事業（水利施設整備事業 一般型）那珂川沿岸地区
農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業 畑地帯担い手支援型）菅生地区
農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業 畑地帯担い手支援型）尾崎北部地区
農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業 畑地帯担い手支援型）茂畑地区
農村地域防災減災事業 印旛沼地区

・事後評価 8地区

畑地帯総合整備事業	逆井地区
畑地帯総合整備事業	朝日地区
畑地帯総合整備事業	今宮・神戸地区
経営体育成基盤整備事業	下ヶ橋河原地区
経営体育成基盤整備事業	山王地区
農業集落排水事業	竹島地区
中山間地域総合整備事業	身延地区
中山間地域総合整備事業	足柄地区

委員からの主な意見は次のとおり。

○再評価

- ・茂畑地区について、事業により作業環境が良くなったことで、若い世代の農家が増えたなど地域の農業構造が改善されていることから、事後評価の際には、きちんと評価すべきである。
- ・印旛沼地区について、湛水被害を防止するためにも整備を計画どおり進めてもらいたい。

○事後評価

- ・足柄地区について、第1回技術検討会で地元の担当者から「農村公園の整備には、住民を交えた話し合いを重ね、ニーズを把握しながら計画を作成した」と聞いた。そのことについても評価に入れるべきである。

5 今後の予定

今回の委員からの意見等を踏まえ、平成28年2月に第3回技術検討会を開催予定。

別紙

平成27年度 関東農政局補助事業評価（再評価・事後評価）
第2回技術検討会 出席者委員

平成27年12月14日

氏名	所属
[技術検討会委員]	
小倉 久子	環境パートナーシップちば事業部長
黒田 久雄 ※委員長	茨城大学農学部教授
清水 みゆき	日本大学生物資源科学部教授
中村 哲也	共栄大学国際経営学部准教授